

# 65歳からの 肺炎予防。

段田安則

肺炎球菌は、日常でかかる  
肺炎の原因として  
とくに多い細菌\*です。

\*日本呼吸器学会.成人肺炎診療ガイドライン2017 p10

## 肺炎球菌ワクチン

2024年5月9日  
呼吸器内科 田中健太郎

# 助成金の対象範囲が縮小されました。

2024年4月1日から

健常者	65、 <del>70、75、80、85歳</del> ・・・
基礎疾患あり (身体障害者)	60～64歳



ワクチン不要？

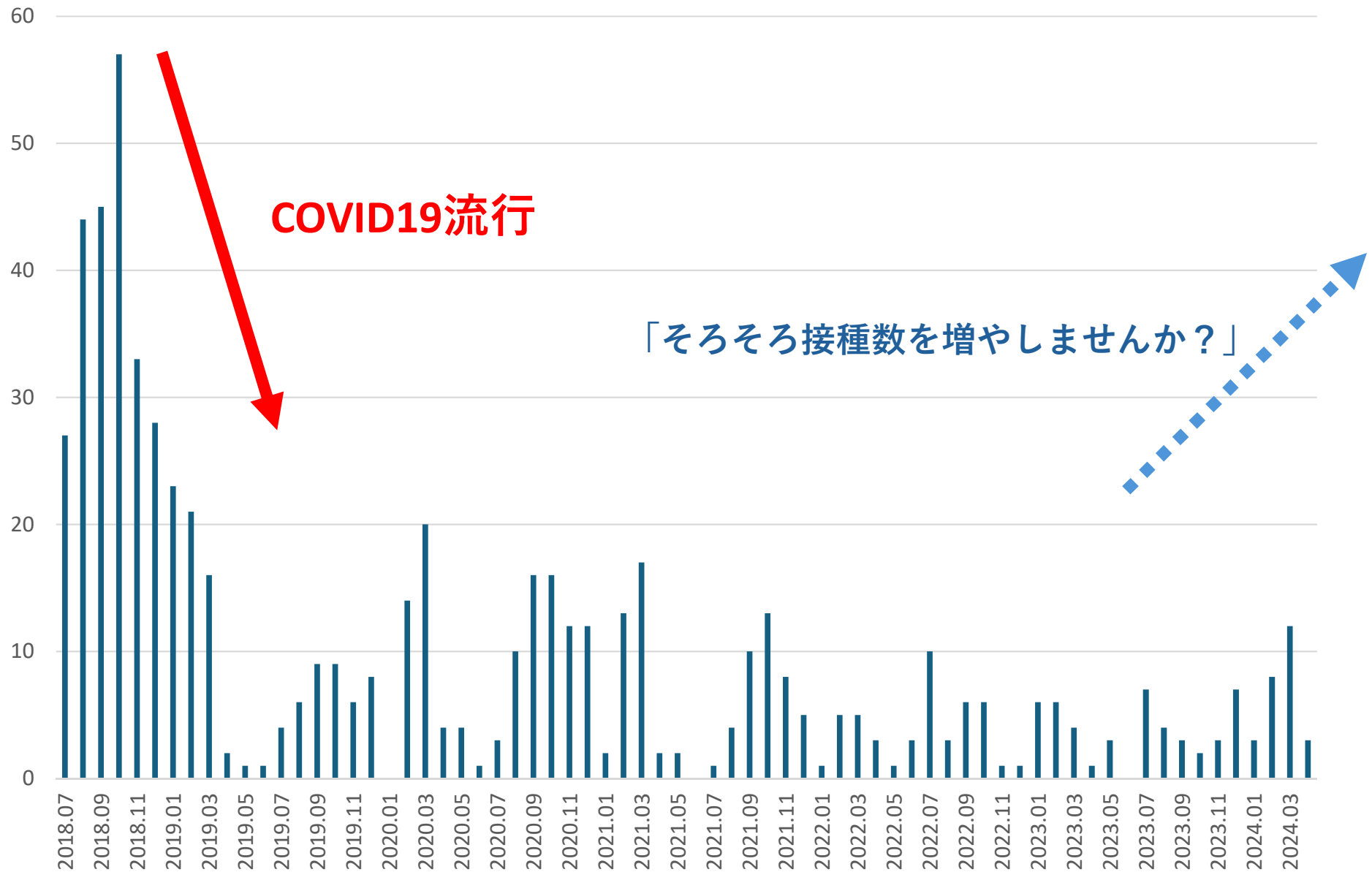


肺炎球菌は撲滅した？

むしろ接種してほしい！



# 当院のニューモバックス接種状況



# 接種した方がいいの？

高齢者施設の入所者1006人（日本）二重盲検RCT

	発症頻度[人(1000人・年)]		発症削減率 (95%CI)	P値
	ニューモバックス群	プラセボ群		
肺炎	55	91	44.8%	0.0006

ハイリスク患者において  
肺炎の発症率、死亡率が低下  
は明らかです。

BMJ.2010Mar8:340:c1004.

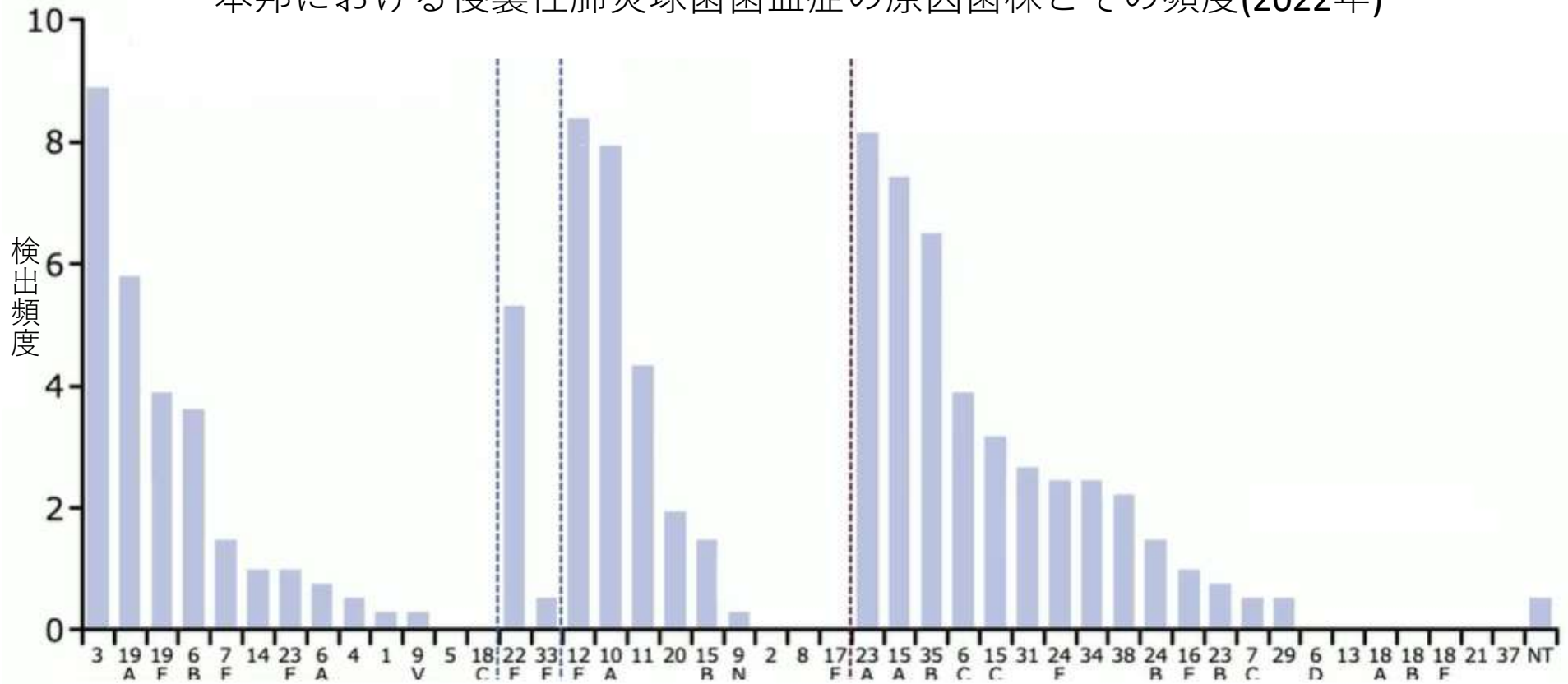
プレベナー

バクニュバンス

ニューモバックス

名称	PCV15	PPSV23
含有莢膜	15価	23価
免疫様式	B+T細胞	B細胞
価格	10000円	7700円
助成金	無	有(3000円分)

(%) (n=418) 本邦における侵襲性肺炎球菌菌血症の原因菌株とその頻度(2022年)



**プレベナー**

カバー率 26%

**バクニューバンス**

29%

**ニューモバックス**

**47%**

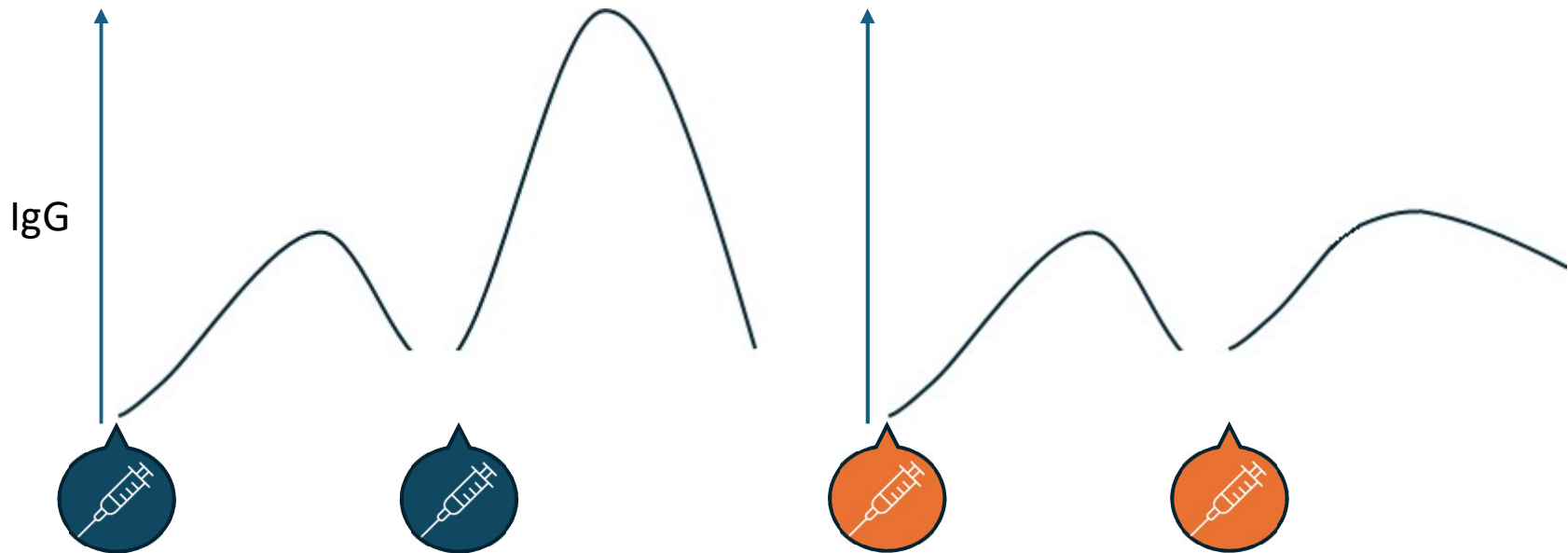
プレベナー

バクニューアンス

ニューモバックス

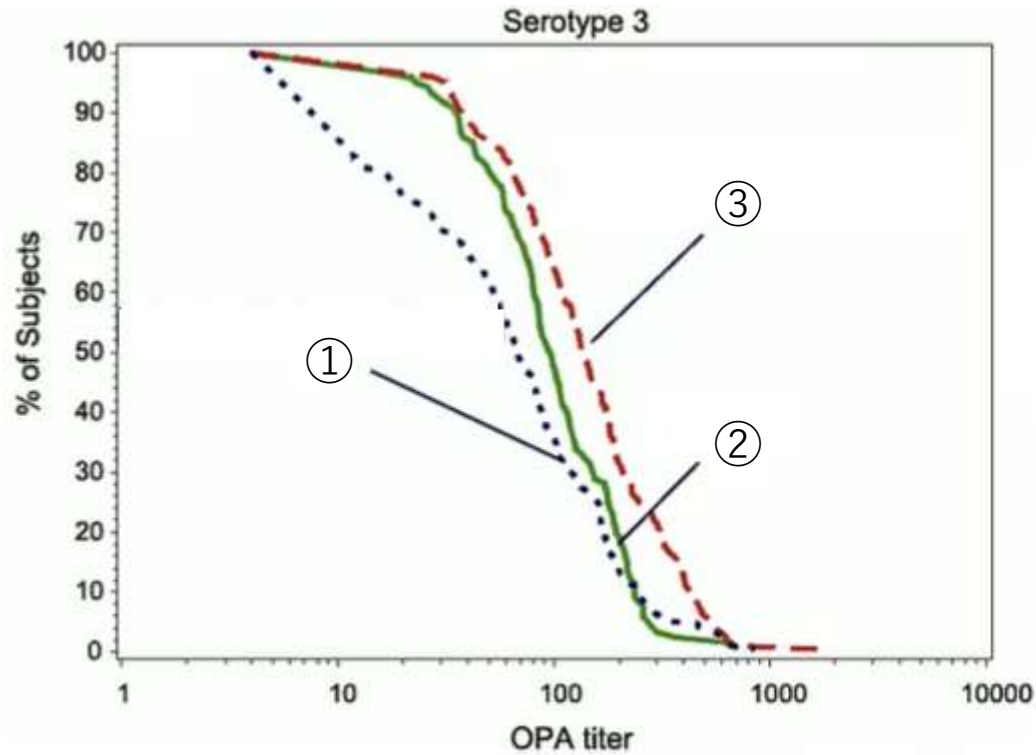
ブースター効果  
あり

なし



※イメージ図(第64回日本呼吸器学会学術講演会教育講演会4より)

# 強い免疫を得るには？



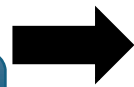
(米国)65歳以下の健常者にワクチンを接種。  
1か月後のオプソニン活性を測定して比較。

- ① PPSV23→PCV13
- ② PCV13→PCV13
- ③ **PCV13→PPSV23**

Vaccine.2014Apr25;32(20):2364-74.  
Vaccine.2013Aug2;31(35):3594-602.

プレベナー

バクニューバンス



ニューモバックス

が最善です。



# 接種すべき患者は？

(日本) 65歳以上で菌血症に至った症例

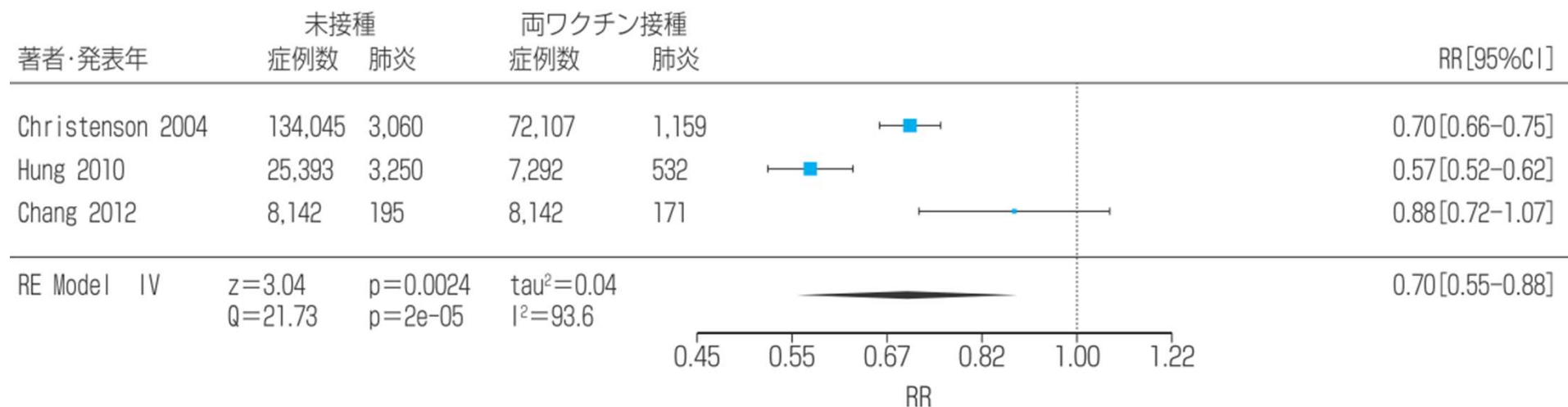
疾患名	症例数(%)	疾患名	症例数(%)
糖尿病	233(16.9)	抗がん剤治療	105(7.6)
慢性肺疾患	206(14.9)	慢性腎臓病	93(6.7)
アルコール依存症	201(14.5)	自己免疫性疾患	85(6.2)
慢性心疾患	192(13.9)	慢性肝疾患	44(3.2)
固形癌	154(11.1)	無脾症	35(2.5)
ステロイド治療	106(7.7)	免疫抑制治療	27(2.0)

Vaccine.2022May26;40(24):3338-3344.

上記リスクあれば特に推奨してください。

感染症学会『65歳以上の成人に対する肺炎球菌ワクチン接種に関する考え方（2024年4月）』

# インフルワクチン打ったんですけど？



インフルエンザ＋肺炎球菌ワクチン併用により  
**肺炎の発症率低下**  
 が確認されており、併用接種を推奨します。

日本呼吸器学会『成人肺炎診療ガイドライン2017』

コロナの影響で抗体保有率が低下しています。  
 来期も効果が期待できます。

国立感染症研究所『インフルエンザ抗体保有状況2023年』

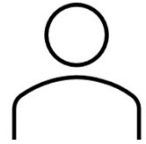
経済的な効果は？

**ニューモバックス**

**ICER 448 万円/QALY**  
(基準値500~600 万円/QALY)

費用対効果に優れる  
と判断された。

# 日本の推奨は？



60～64歳  
基礎疾患あり  
(身体障害者)

プレベナー

バクニューバンス

1～4年後



5年以上毎

ニューモバックス



65歳以上  
ハイリスク

プレベナー

バクニューバンス

1～4年後



5年以上毎

ニューモバックス



65歳以上  
健常者

プレベナー

バクニューバンス



5年以上毎

ニューモバックス

※65歳ちょうどで助成金がもらえるならニューモバックスでも可

※接種したらカルテ記載をお願いします。(5年後に何を打てばいいかわからなくなるため)

# RSワクチンどうしましょう？

※おまけです

入院を要する肺炎の1.2%～6%にRSウイルスが関与している。

高齢者におけるワクチン接種は  
肺炎(82.6%)重篤な肺炎(94.1%)に有効。

NEnglJMed.2023;388:595-608



2023年ACIPはRSワクチンを条件付で推奨した。  
米国予防接種諮問委員会

日本呼吸器学会は「さらなるエビデンスの蓄積が必要」と。

